

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年 3月28日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	発見日
1	3号機	非常用電気品室換気空調系給気ファン／排気ファン(A)は2022年3月に点検期限となるが、コントロール建屋2階の計算機室を冷却している中央制御室換気空調系冷凍機(A)(B)の修理が2022年3月までに終了できないことから、計算機室の冷却のため代替使用している当該機器を社内マニュアルに従い点検期限の妥当性評価を行い、点検期限を2023年3月まで延長。	GⅢ	3月23日
2	4号機	タービン建屋低電導度廃液系(B) サンプポンプにおいて、自動停止の液位となってもサンプポンプが自動停止しないことが認められたため、停止回路保護継電器を点検・修理。 なお、本不適合は2022年3月2日に液位検出スイッチの点検・修理としてお知らせしていたが、点検により液位検出スイッチは正常であったことから、停止回路保護継電器を点検・修理するものである。	GⅢ	3月22日
3	その他	協力企業が管理する少量危険物貯蔵取扱所において、地震によりペール缶が転倒したことによりペール缶から床面に油(タービン油FBK56)が約16リットル漏れたことが認められたため、油の処置ならびに対策検討・実施。 なお、本件は消防署員により「危険物の漏えい事故ではない」と判断された。	GⅢ	3月17日